

筑波大学生命環境系とマレーシア工科大学・マレーシアー日本国際工科院の共同開催により、バイオマス・バイオエネルギー・水処理研究シンポジウムをクアラランプールで開催

2014年10月30～31日、マレーシア工科大学・マレーシアー日本国際工科院(UTM/MJIIT)クアラランプールキャンパスにおいて、Malaysia-Japan Joint Symposium on Biomass, Bioenergy and Water Environment for Development of Sustainable Societyが開催された。本シンポジウムは、生命環境系白岩善博教授・系長と杉浦則夫 UTM 教授・筑波大学特命教授が主導して、開催された。発表は白岩教授が主宰する微細藻類によるバイオエネルギー研究 (JST/CREST) の成果および杉浦教授が主宰する水環境研究 (科研費・海外学術研究) の成果を中心に、日本およびマレーシアからバイオマス・バイオエネルギー・水環境に関する生物学、環境科学、環境問題に関する社会科学の多くの研究者が参加して関連の研究発表が行われた。主宰者である白岩教授の趣旨説明の他、特別講演 (渡邊信教授、牧島亮男教授、杉浦則夫教授、メガット教授、ズリアティ教授)、一般公演が行われ、活発な議論が行われた。尚、本シンポジウムを今後とも継続して開催して行くことが合意された。



杉浦則夫 UTM 教授・筑波大学特命教授の講演



日本・マレーシア両国の参加者の皆さん